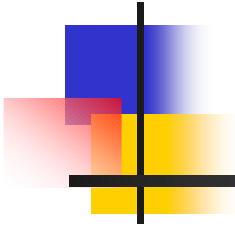
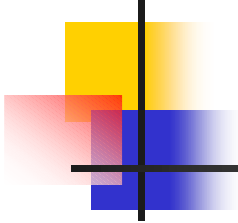


Unix のファイルシステム (File System)

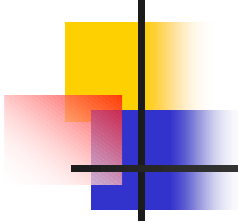


色々なファイルが色々なディレクトリ
ーにどのように整理されて入ってい
るかを一応知っておこう。

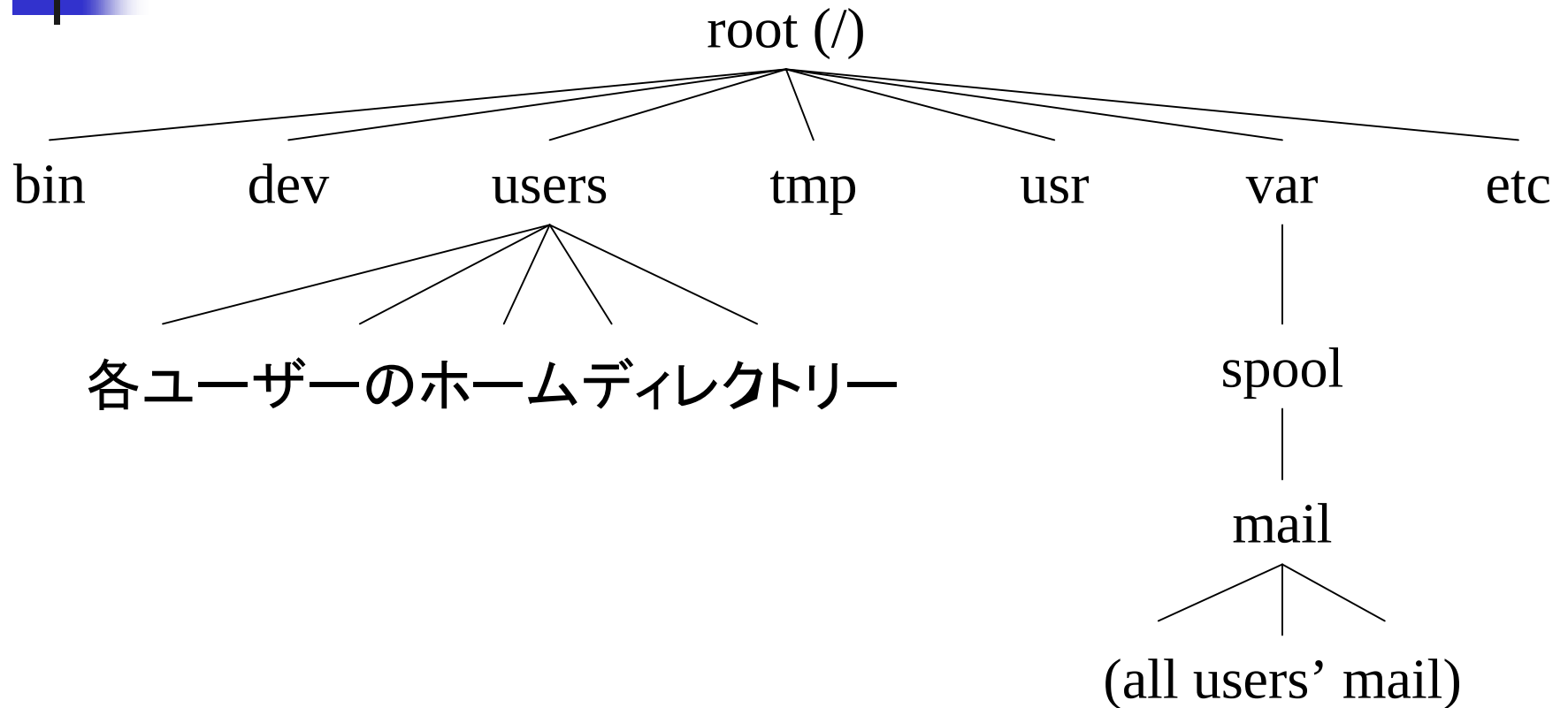


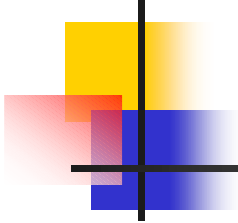
Unix ファイルシステム

- ホームディレクトリー (Home directory)
 - 自分のファイルを置いておくところ。
 - ログインした時にはまずホームディレクトリーに入る。
- カレントディレクトリー (current directory)
 - 自分が今仕事をしているディレクトリー。
 - (英語だとWorking directoryのほうが正しいかも。)



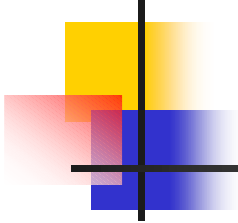
典型的な Unix file systemの例





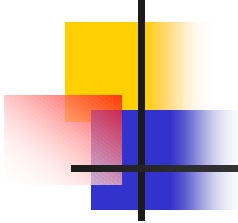
典型的なディレクトリーの例

- **bin:** 最もよく使われるUnixのコマンドやシェルのソフトウェアが入っている。
- **dev:** デバイス(devices)のことで、プリンターとかターミナルとかの周辺機器を動作させるのに必要なソフトが入っている。
- **etc:** 色々な管理に必要なファイル、例えばユーザーの名前やパスワードのリスト等が入ってる。
- **usr/users:** ユーザーのホームディレクトリーが入っている。
- **tmp:** 一時的なファイルを入れておく。
- **var:** 内容が頻繁に変更されるようなファイルが入っている。特にメールのディレクトリーなど。



ファイルとディレクトリーの名前

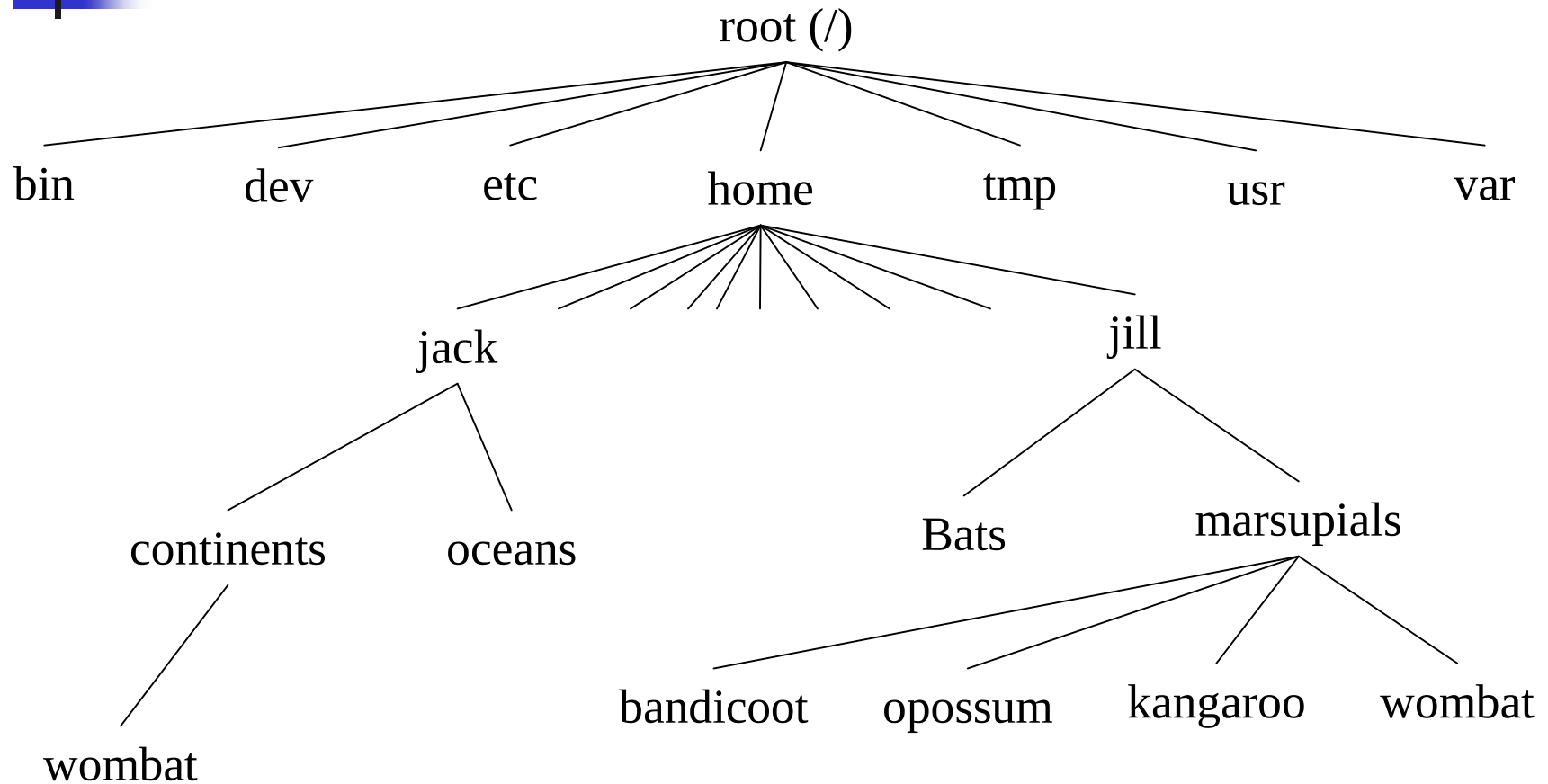
- 名前を付けるのに使ってよい文字は:
 - アルファベット大文字 (A から Z)
 - アルファベット小文字 (a から z)
 - 数字 (0 から 9)
 - ピリオド (.), アンダースコア (_), コンマ (,).
- 名前にはスペースと以下の文字を使っては**いけない**:
 - & * ¥ | [] { } \$ < > () # ? ` \" / ; ^ ! ~ %
 - また、Unix コマンドと同じ名前をファイルネームには使わないほうが良い。



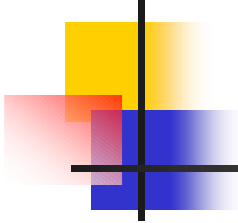
パス(path)、絶対パス名 (absolute pathnames)

- Unix でファイルを使う時に必要なのは、そのファイルの名前だけである。
- 他のディレクトリーから使いたいファイルにアクセスするにはパス名が必要になる。
- パス名とはファイルシステムの中で使いたいファイルがある場所の住所(名前)のこと。
- 絶対パス名はファイルシステムの構造の一番上から見た時の、使いたいファイルのある場所。
- 絶対パス名は / から必ず始まる。
- フルパスネーム(full pathname)とも言う。
- ~ (tilde) はホームディレクトリーのフルパスネームの省略形である。

ディレクトリー構造の例

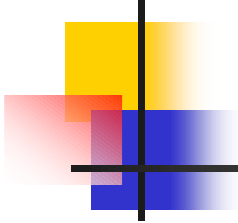


問) continents の絶対パス名はどう書けるか？

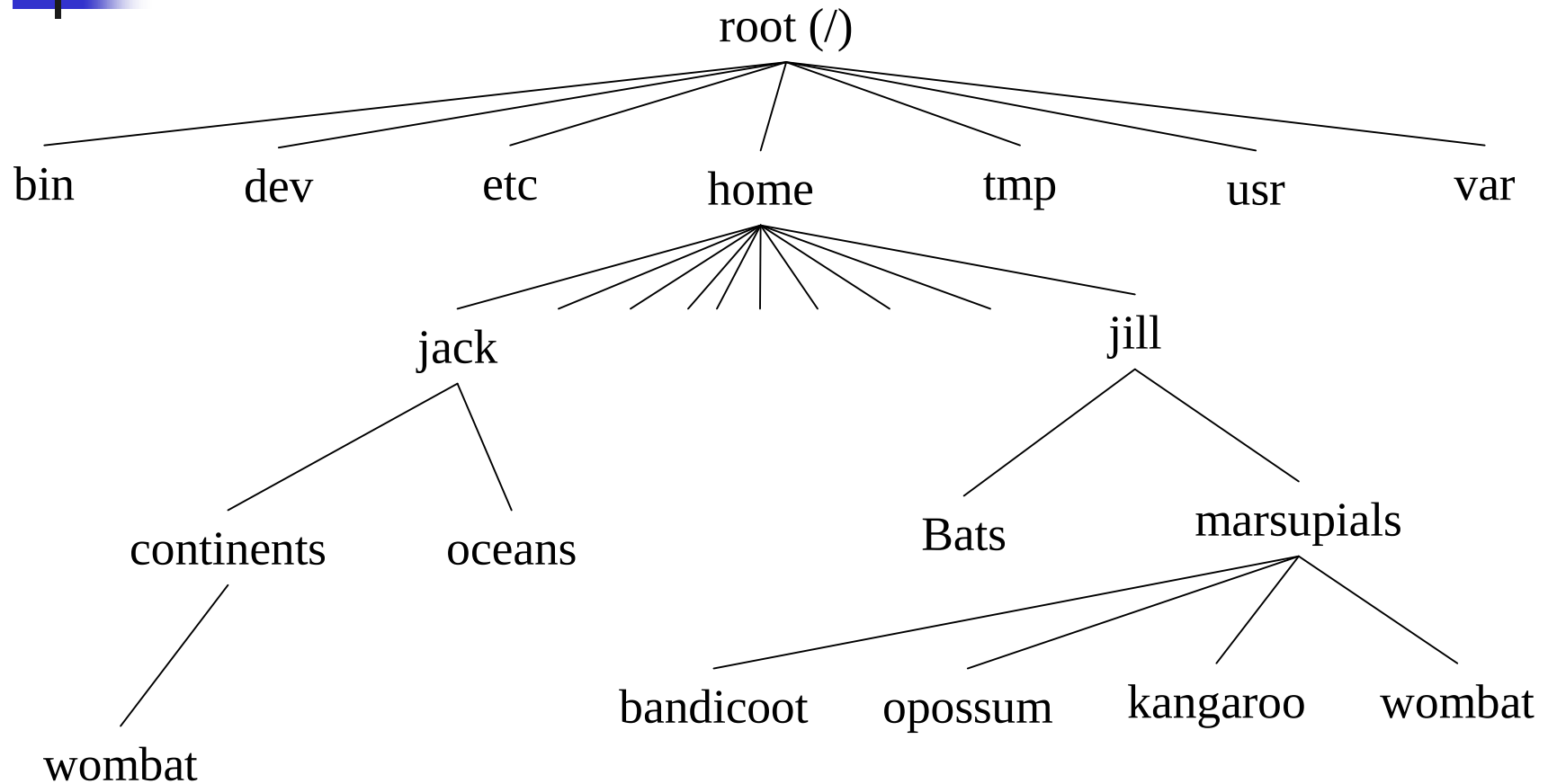


相対パス名 (Relative pathnames)

- あるファイルを使いたい時、自分が使っているディレクトリー(カレントディレクトリー)から見て、そのファイルがどこにあるかが分かると便利ことが多い。これは相対的な見かたをしているということになりますね。
- 従って、相対パス名は(ルートディレクトリーからではなく)カレントディレクトリーから始まる。
- 親ディレクトリー(1レベル上のディレクトリー)を参照する場合には .. (ダブルドット)を使う。



Example Directory Structure



問) continents がカレントディレクトリーの時、opossum の相対パス名は？